

イソプロチオランの食品健康影響評価に関する審議結果（案）

についての御意見・情報の募集結果について

1. 実施期間 平成19年12月20日～平成20年1月18日
2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送
3. 提出状況 1通
4. コメントの概要及びそれに対する農薬専門調査会及び動物用医薬品専門調査会の回答

御意見・情報の概要	専門調査会の回答
<p>【意見】</p> <p>イソプロチオランのADIは、提案の0.1mg/kg 体重/日でなく、0.016mg/kg 体重/日とすべきである。</p> <p>(理由)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下記の環境省の評価では、0.016mg/kg 体重/日となっており、この数値は水質汚濁に係わる要監視項目指針値の設定に使われている。 <p>http://www.env.go.jp/chemi/report/h17-21/pdf/chpt2/2-2-2-07.pdf (環境省：化学物質の環境リスク評価 (第4巻))</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 下記のメーカー日本農薬の資料によれば、イヌの2年間慢性毒性試験によれば、NOELは雄で3.1 mg/kg/dayとなっており、食品安全委員会のNOEL評価値10mg/kg/dayより低い値である。 <p>http://www.jcpa.or.jp/nouan/data/nj06d.pdf (「農薬時報別冊」平成2年11月15日発行)</p>	<p>【回答】</p> <p>今回設定したイソプロチオランのADIは、農薬専門調査会及び動物用医薬品専門調査会において、リスク管理機関から提出のあった資料を用いて、最新の科学的知見に基づき評価を行ったものでございます。</p> <p>評価の結果、イヌを用いた1年間慢性毒性試験におけるNOAEL (10 mg/kg 体重/日)を根拠としてADI (0.1 mg/kg 体重/日)を設定しました。</p> <p>御指摘の「環境省の化学物質の環境リスク評価 (第4巻)」に記載のADI (0.016mg/kg 体重/日)は、1977年実施のラットの2年間慢性毒性試験の40ppm (1.6 mg/kg 体重/日)をNOAELとし、安全係数100で除したものと考えられます。本試験は、GLPに準拠した試験ではなく、試験中の動物の死亡率が高すぎる等から、評価に用いるには不適切と考えました。</p> <p>また、イヌの2年間慢性毒性試験に関しても、GLPに準拠した試験ではなく、病理所見の観察が不十分である等、試験の信頼性が低かったため、評価には用いませんでした。</p> <p>なお評価結果に関しては、関係省にも連絡し、リスク評価機関とリスク管理機関の連携に努めます。</p>